

**製品名: Rad23A ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab16835**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300
分子量	48kDa

**抗原情報**

遺伝子名	RAD23A
別名	RAD23A; UV excision repair protein RAD23 homolog A; HR23A; hHR23A
遺伝子 ID	5886.0
SwissProt ID	P54725
免疫原	抗血清はヒト RAD23A 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 91-140

**背景**

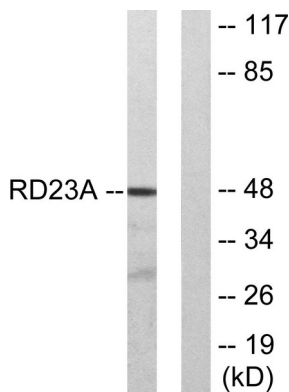
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、ヌクレオチド除去修復に関与するタンパク質であるサッカロミセス・セレビシエ (*Saccharomyces cerevisiae*) Rad23 の2つのヒトホモログのうちの1つです。このファミリーのタンパク質は、ユビキチン様ドメ

イン (Ubl) 、ユビキチン関連ドメイン 1 (UbA1) 、XPC 結合ドメイン、および UbA2 からなるモジュールドメイン構造を有しています。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、ヌクレオチド除去修復において、またポリユビキチン化されたタンパク質のプロテアソームへの送達においても重要な役割を果たします。選択的スプライシングにより、複数のアイソフォームをコードする複数の転写産物バリエーションが生成されます。[RefSeq 提供、2012 年 6 月]、ドメイン: ユビキチン様ドメインは MJD との相互作用を媒介します。機能: 紫外線損傷を受けた DNA の複製後修復に関与します。複製後修復は、損傷した DNA の複製時に娘鎖のギャップを埋める役割を果たします。PTM: DNA 損傷時にリン酸化されます (おそらく ATM または ATR による)。類似性: RAD23 ファミリーに属します。類似性: ユビキチン様ドメインを 1 つ含みます。類似性: UBA ドメインを 2 つ含みます。サブユニット: MJD と相互作用します。HIV-1 Vpr と相互作用します。

## 研究分野

ヌクレオチド除去修復

## 画像データ



RAD23A 抗体を用いた LOVO 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。